

スーパーコンピュータ供用サービス

AMEDゲノム医療研究支援機能 情報基盤推進

『スーパーコンピュータ供用サービスの利用概要』

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ゲノム・データ基盤事業部ゲノム医療基盤研究開発課
rev2.0 2020年4月1日



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

■ スーパーコンピュータ概要

東北メディカル・メガバンクに設置するスーパーコンピュータ

[システム全体構成](#)

[ハードウェア](#)

[ソフトウェア](#)

[提供サービス](#)（東北メディカル・メガバンク計画の成果の一部を利用可能）

《参考》詳細については、東北メディカル・メガバンク機構 スーパーコンピュータの公式Webサイトを参照してください。 <https://sc.megabank.tohoku.ac.jp/system>

■ 『スーパーコンピュータ供用サービス』とは

AMED事業採択課題の研究者を対象に、特別料金でスーパーコンピュータを利用可能とするサービス、計算機利用に係る研究費負担を軽減し、研究加速に向けて研究費の効果的運用を促すためのサービスです。

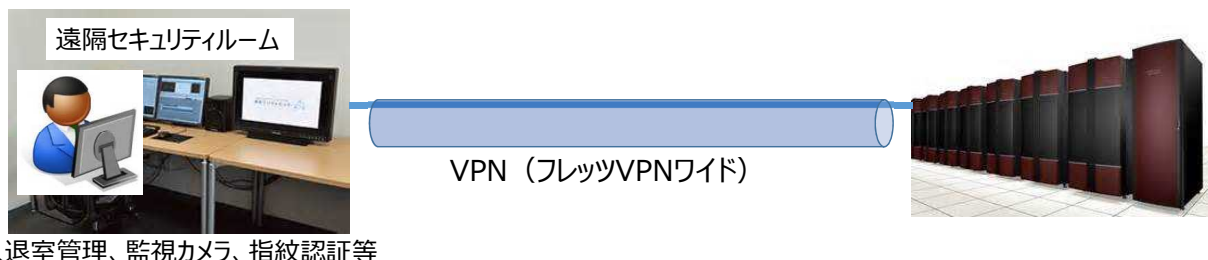
II. 利用形態

■ 扱うデータのセキュリティ要求度合いにより、利用形態を選択
(オンサイトでの利用も可能)

- ① 情報セキュリティ分類：オープン／セミオープンデータ（公開区画UnitAを使用）
(例：公開データや使用者管理責任下のデータを使用)



- ② 情報セキュリティ分類：ストロング／スタンダードデータ（分譲・共同利用区画UnitBを使用）
(例：未公開データや制限共有データを使用、ToMMo分譲データを使用)



利用量に応じて6つのコースを準備しています。本サービス利用時は特別料金で使用可能です。
具体的な料金については、照会時に別途連絡します。

区 分	ノード数	Disk (TB)	共有キュー	ユーザ数 (アカウント)
コース1	1 (3)	1 (5)	24 (72)	1 (9)
コース2	6 (13)	2 (30)	144 (312)	3 (9)
コース3	12 (26)	4 (60)	288 (624)	6 (9)
コース4	20 (40)	10 (100)	480 (960)	10 (19)
コース5	50 (70)	40 (150)	1,200 (1,680)	20 (29)
コース6	80 (100)	80 (200)	1,920 (2,400)	30 (39)

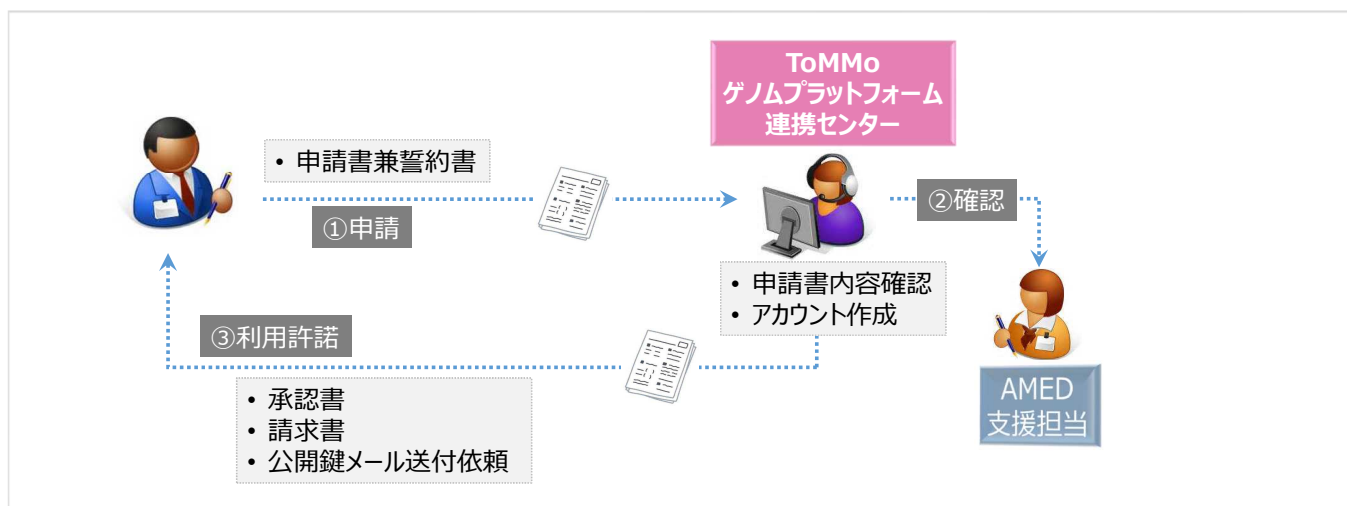
() 内数字はオプション加算の上限

オプション		単位
利用ノード追加		1ノード / 1年間
ストレージ (Lustre) 追加		1TB / 1年間
ユーザ追加		1アカウント
データ持ち出し	デバイス利用	1台
	区画間転送	1回
データ持ち込み	デバイス利用	1台
	区画間転送	1回

■ 遠隔セキュリティルームについて

- 分譲・共同利用区画UnitBを使用し、VPN回線での高セキュリティ遠隔利用を行う場合、使用する端末は「遠隔セキュリティルーム」に設置する。
- 「遠隔セキュリティルーム」に対する要求仕様は、東北メディカル・メガバンクから提示されるものにしたがい、工事費用、運営費用、運営管理等は使用者側で行う。
- 主な仕様：
 - 生体認証による入室制限
 - 監視カメラ（出入口・室内録画・保存）
- VPNは、「NTTフレッツVPNワイド」を使用する。
回線初期費用、フレッツ光使用料、フレッツVPNワイド使用料、機器レンタル料、及び保守費等は、使用者側で負担する。

1. 照会

2. 利用申請 [利用申請書](#)

3. 利用開始手続き



※ 利用申請時の注意事項

- ① 申請は年度毎に行う（年度をまたがった申請はできない）
- ② 利用料金は一括前払い
- ③ 料金の月割り対応は可能
- ④ 要望により、見積書の発行可能

■ 持ち込み・持ち出しの可否

<公開区画UnitA>

- データの持ち込み、持ち出し共に可

<分譲・共同利用区画UnitB>

- データ持ち込み可
- ToMMo分譲データを使用する場合、データの持ち出しは不可
- 持ち込んだ自前のデータのみの場合、データの持ち出し可

■ データ持ち込み・持ち出し時の手続き

- 2 TB以上のデータの持ち出しをする場合は、「データ持出し申請書」を提出
- 提出先がキーロック付きHDDまたはキーロック付きUSBメモリの場合は申請書と共に提出
- 詳細は、以下のページの『データ持ち出しに必要な申請と書類』をご覧ください。

https://sc.megabank.tohoku.ac.jp/application/application_tommo#a2

■ 主なデータの種別に基づくセキュリティ分類の対応、及び利用手続き等の考え方

データの種別	セキュリティ分類	利用手続き等
1 アレル頻度情報	オープン	Web簡易DTA、NBDCヒトデータベース等の非制限公開
2 ジェノタイプ頻度情報	セミオープン	署名簡易DTAあるいはユーザ認証
3 年齢・性別、検体検査情報等に基づき選択されたジェノタイプ頻度情報	スタンダード	分譲手続き・DTA
4 個人毎の変異情報、配列情報のRAWデータ	ストロング	分譲手続き・DTA、ToMMoスパコン（遠隔セキュリティルームからのVPN接続を含む）での利用

(注) DTAはData Transfer Agreementの略

【問合せ先】

サービス全般に関する問合せ	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル21階 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 ゲノム・データ基盤事業部 ゲノム医療基盤研究開発課 ゲノム医療研究支援機能担当 TEL : 03-6870-2228 FAX : 03-6870-2246 E-mail : genome-support@amed.go.jp
手続き、技術内容等に関する問合せ	〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ゲノムプラットフォーム連携センター TEL : 022-274-5952 E-mail : support@sc.megabank.tohoku.ac.jp

スーパーコンピュータ共用サービス

AMEDゲノム医療研究支援機能 情報基盤推進

『スーパーコンピュータ共用サービスの利用概要』

